

CSRの 取り組みテーマ

東芝機械グループは、自然に恵まれた静岡県東部に主要な生産拠点を有し、また、世界中の国・地域で事業活動を展開しています。豊かな地球環境を未来に残し、社会の持続可能な発展に貢献するため、私たちを取り巻くお客様、株主、取引先、従業員、地域社会の方々等、世界中のステークホルダーの皆様への関心と配慮を保ちながら、CSR活動を推進してまいります。

項 目	取り組みテーマ	2018年度の計画	2018年度の取り組み	評価	2019年度の計画	ISO26000の中核課題	掲載ページ
 お客様とのかかわり	● 技術 ● 品質・安全 ● サービス	● 品質マネジメントシステム(QMS)の向上	● ISO9001:2015年版改定完了、国内3事業部・海外3工場の監査実施	○	● 品質向上に向けた品質機能展開の活動推進	環境 消費者課題	P21～
		● IoT+mプラットフォームの中核となる見える化ツール(ダッシュボード)の商品化	● 日本国際工作機械見本市に出品し客先モニター実施	△	● IoT共通プラットフォーム(machiNet)の開発および商品化		
		● 国内外顧客への技術および製品情報提供	● 最新技術と新製品を紹介した「技報」を発行	○	● 国内外顧客への技術および製品情報提供		
 調達・取引先とのかかわり	● 環境保全を考慮した調達 ● 適法な調達 ● 反社会的勢力との取引防止	● 新EDIシステム取引先社数向上	● 新規取引先を含め約50社を登録	○	● グリーン調達の推進	公正な事業慣行	P23
		● 調達関係法令教育の実施	● 調達適法教育(国内グループ会社を含め269名参加)	○	● 海外拠点に対するCSR調達活動の調査継続		
		● 海外拠点に対するCSR調達活動の調査継続	● 4拠点で自己評価プログラムによる調査実施	○	● 調達取引先へのCSR方針説明		
 株主・投資家とのかかわり	● 適時開示 ● コミュニケーションの向上 ● 評価の確保	● 株主・機関投資家との対話の実施	● 機関投資家との対話を実施(119件)	○	● 株主・機関投資家との対話の実施	組織統治	P24
		● ホームページ(以下HP)投資家情報コンテンツの拡充	● 業界傾向推移情報の内容充実	○	● 情報にアクセスしやすいHPへのリニューアル		
		● 情報閲覧方針の策定	● 情報閲覧方針の策定、HP公開	○	● HPの掲載内容の充実		
 従業員とのかかわり	● ダイバーシティ ● 人財育成 ● 安全・健康管理	● より実践的なグローバル人財育成教育を実施	● 海外現法研修の実施	○	● 若手に注力した教育の実施	人権 労働慣行	P25～
		● ダイバーシティへの対応	● 多様な人財の活躍の推進、育児・介護に関する制度の対応および推進	○	● ダイバーシティへの対応		
		● 従業員の意識高揚を図るための安全・健康教育の実施	● 安全特別教育等9回実施。延べ410名参加、健康教育(階層別・職場別等)25回実施、延べ779名参加	○	● 安全・健康で、多様な人財が活躍できる組織風土づくり		
 地域社会とのかかわり	● 地域社会貢献 ● 技術教育への支援 ● 地域との共存	● 各種教育活動の実施	● モノづくり人材教育、職業体験の実施	○	● 各種教育活動の実施	コミュニティへの 参画および コミュニティへの 発展	P27～
		● ボランティア、福祉活動の実施	● 献血、TABLE FOR TWOなどの活動を実施	○	● ボランティア、福祉活動の実施		
		● 地域、行政への活動協力	● (公社)静岡県労働基準協会連合実施の資格取得事業への協力	○	● 地域、行政への活動協力		
		● 工場周辺美化活動実施	● 工場周辺美化活動実施(10拠点1116名参加)	○	● 工場周辺美化活動実施		
		● 外部団体環境活動参加	● 外部団体の環境活動行事への参加(9団体)	○	● 外部団体環境活動参加		
 環境への取り組み	● 環境マネジメントの強化 ● 東芝機械グループの環境負荷低減 ● 地球温暖化防止 ● 汚染防止	● 環境マネジメントシステムの有効活用	● 環境マニュアル改訂(2018.12)	○	● 社会への環境貢献度拡大アイテム洗い出し	環境	P29～
		● 海外拠点の環境管理レベル向上およびキーマン環境教育	● 化学物質管理が進展したものの不十分	△	● SDGsの環境に関連したゴールへの取り組み		
		● 社有車および自家用車における環境負荷低減	● エコカー導入台数36台、導入率36.3%ノーカーデーを2日間実施	○	● 社有車および自家用車における環境負荷低減		